

アル・アクサ洪水第754日目：米国が「第二段階」を推進する中、ガザ人民法廷が最終判決を下す

Palestine Chronicle, 2025年10月27日、脇浜義明訳



イスラエルはガザで恐ろしい虐殺を行った。(Photo: Mahmoud Ajjour, Palestine Chronicle)

主要事項

* ガザ人民法廷は、イスラエルのガザにおける行動はジェノサイドであるという最終的結論に達し、それに対する世界の無為を非難し、国家がやらないなら市民社会が行動する義務があることを確認した。

* イスラエル公共放送（カン）は、米国はイスラエル人人質の遺体が返還されなくても停戦合意の第二段階に進むことを望んでいるという治安関係筋の言葉を報道した。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者68,527人、負傷者170,395人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月27日 11:31 pm

* パレスチナ・クロニクル：国連報告者アルバネーゼはネルソン・マンデラ財団のゲストとして、「パレスチナのために行動するのは慈善行為でなく、連帯闘争の一環である」と述べた。[ヌーラ・テーブ記者のケープタウンからの報告](#)を読みたい。

10月27日 11:04 pm

* イスラエル軍：軍は、赤十字がガザでイスラエル人人質遺体を受け取ったことを確認した。これは、停戦開始後、アル・カッサム旅団が引き渡した19体目の遺体である。イスラエルはまだ12体の遺体が残っていると言い、ハマスは限られた機材のため遺体回収が困難だと言っている。

*イスラエル軍：軍は、赤十字が人質遺体を受け取るためにガザ回廊北部の指定地へ向かっていると発表した。

10月27日 9:22pm

*パレスチナ・クロニクル：ハマスはガザ市の瓦礫の中でイスラエル人質の遺体を発見したので、赤十字に引き渡すと発表した。イスラエルが戦争再開の脅威を強め、米国はハマスに遺体回収作業を加速せよと圧力をかけている。

10月27日 9:10pm

*パレスチナ・クロニクル：ニューヨークタイムズによると、2022年にパレスチナ人ジャーナリストのシリーン・アブ・アクレがイスラエル軍によって殺害された事件を調査していた米当局の高官たちは、国務省の最終的な死亡原因の査定をめぐって「大きく意見が分かれていた」という。一部の高官は「銃撃は意図的なものだったと確信していた」という。

*パレスチナ・メディア：イスラエル公共放送（カン）は、最近イスラエルを訪問した米国高官一行に、ここ数か月間にヒズボラがシリアからレバノンへ数百発の短距離ロケット弾を密輸入したとイスラエルが伝えたと報道した。また、ヒズボラの行動は停戦違反なので、レバノンを攻撃していると説明した。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務相はまたもやサウジアラビアを批判し、「イスラエルはサウジと協力しないでも77年間やってきたし、今後77年間もそうするであろう」と言った。彼は、極右宗教シオニスト党の会合で、サウジ政府がイスラエルはガザでジェノサイドを行っており、イスラエルに対する法的措置を支持するとイスラエル非難をしたことは、私の以前の発言よりも「千倍も侮辱的だ」と述べた。

*チャンネル12：米高官の話では、トランプ大統領が人質遺体返還の進展に関して「48時間」と言ったのは、ハマスに対する最後通告ではなかった。

*アル・カッサム旅団：今日早朝ガザ市で発見した人質遺体を現地時間午後9時に引き渡す。

10月27日 8:46pm

*パレスチナ・クロニクル：アラブ連盟のアハメド・アブール・ゲイト書記長は、米国とイスラエルの間の「秘密協定」と言われるものがあることを明らかにした。それは、イスラエルの核兵器保有に関して米国は永久に沈黙すると約束したものである。

10月27日 8:43pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・クロニクルが捕虜交換で釈放されたパレスチナ人囚人をインタビューしたが、彼は釈放寸前まで激しい拷問を受けていたことを明らかにした。[Fayha Shalashの記事](#)を読みたい。

10月27日 8:14pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・イスラム聖戦（PIJ）の軍事部門であるサラヤ・アル・クッズ旅団の戦士は、ジェニンの南で行動していたイスラエル占領軍に対し、即席手製爆弾で攻撃した。ヘブロン（アル・ハリール）南では、占領軍によって若いパレスチナ人男性が射殺された。

10月27日 7:40pm

*アル・カッサム旅団：旅団の幹部はアル・ジャジーラに対し、今日ガザ市アットゥファーフ地区で行った遺体探しで、イスラエル人質遺体を発見したと言った。今、赤十字国際委員会と引き渡し時間を調整中である。

*アル・クッズ旅団：アル・クッズ・ジェニン旅団は、ジャバでイスラエル占領軍の侵攻部隊と戦闘し、事前に仕掛けていた路傍爆弾「トゥファン」を爆発させて軍車両1台に損傷を与え、銃撃戦で何人かのイスラエル兵を負傷させたと報告した。

*レバノン・メディア：イスラエルの無人機が南レバノンの町アル・バイヤドを爆撃した。

*ユニセフ：ユニセフの地域事務所の代表はアル・ジャジーラに対し、ガザ状況は壊滅的で、インフラの80%以上が破壊され、多くの子どもが負傷または障害を負って支援が必要な状態で、65万人の子どもが2年間以上学校教育を奪われている。

*イスラエル・メディア：イスラエルのベザレル・スモトリッチ財務相は、戦争は終わっていない、ガザの武装解除を達成しなければならないと言った。イスラエルは、ガザの武装解除がない限りガザの復興も認めないと述べ、イスラエルの安全保障が最優先であるとした。

*イスラエル・メディア：イスラエルのギデオン・サル外相は、エルドアン政権のトルコはイスラエルに対する敵対的姿勢を取っていると述べ、トルコ軍をガザ安定国際部隊に入れたくないことを米政府に伝えたと言った。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ・アフラル（自由）運動は、マフムード・アッバス大統領が、大統領職が空席になった場合はPLO執行委員会の副議長がPA大統領職を担うという命令を出したことを非難し、倫理と憲法に反し、憲法の正当性に対する露骨なクーデターだと言った。

*ガザ保健省：囚人の家族を支援するために、イスラエルから引き渡された遺体の身元確認を支援する事務所をアッシファ病院に開設した。遺品や身体的特徴で遺体の身元を確認するために、家族の人々はアッシファ病院に来て欲しい。

10月27日 3:39pm

*ユニセフ：ユニセフは停戦の維持を求め、民間人や人道支援従事者が安全で妨害されずに移動できることを要請した。

*イスラエル・メディア：カッツ国防相は、2023年10月7日に発令した南部地域特別非常事態宣言を解除した。

*ガザ保健省：イスラエルの爆撃のため、この48時間で8人のパレスチナ人死亡者と13人の負傷者が病院へ搬送された。これによって、2023年10月7日からの犠牲者数は、死者68, 527人、負傷者170, 395人となった。

10月27日 12:54pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは空、陸、海からの攻撃を続けて停戦を破っている中、ハーン・ユーニス東をイスラエル軍がドローン攻撃し、パレスチナ人2人が死亡した。

10月27日 12:31pm

*パレスチナ・メディア：地元からの情報によると、西岸地区ベツレヘム（ベイト・ラハム）南にある町アル・ハデルをイスラエル占領軍が襲撃し、催涙ガス弾を発射し、パレスチナ人生徒が催涙ガスを吸引した。

*アラブ連盟：アラブ連盟事務局は、西岸地区オリーブ収穫中のパレスチナ人への入植者の攻撃を非難した。

*ロイター通信：マルコ・ルビオ国務長官は、米政府はハマスにイスラエル人質遺体の返還を急げと求め、イスラエルはガザ停戦合意に違反していないと述べた。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス東の町アバサン・アル・カビーラでイスラエル軍のドローン攻撃でパレスチナ人2人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、捕虜交換合意の一環としてイスラエルから返還された身元不明のパレスチナ人捕虜の遺体41体を共同墓地に埋葬するというガザ保健省の発表を報じた。

*パレスチナ・クロニクル：銃声がやがて静まる時、重要な問いはこうなるだろう——正義の側に立ったのは誰か、権力の側に立ったのは誰か？[ベネイ・ブレンドの最新記事](#)を読みたい。

*ロイター通信：トランプ米大統領は、「ハマスが人質遺体の引き渡しを早めることを望む。イスラエルは停戦合意に違反していない」と言った。さらに、彼は「私はここ数か月で8つの戦争を終結させた。今、9つ目の戦争を終結させようとしている。そして何百万人もの命を救った」と付言した。

*アル・クッズ旅団：サラヤ・アル・クッズ・ジェニン旅団は、イスラエル軍増援部隊がアンザの町を襲撃しているとき、旅団戦士が手製爆弾「トゥファン」を爆発させて、イスラエル軍車両を損傷させたと発表した。また、旅団のカバティヤ部隊の戦士がいくつかの戦闘地域でイスラエル軍と交戦し、激しい銃撃戦で敵兵を負傷させたと言った。

*UNRWA：UNRWAのアドナン・アブ・ハスナ報道官は、UNRWAはガザで活動を許可されないだろうというマルコ・ルビオ国務長官の発言は、新しいものではなく、長年の米国政府の姿勢の反映だと言った。彼は、2018年に大統領に就任したトランプがUNRWAへの資金提供を停止し、その後バイデンが再開したが、トランプが再び大統領となってまた停止したと、説明した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス東のアバサン・アル・カビーラの町の住民を標的にしたイスラエルのドローン攻撃で、パレスチナ人1人が死亡した。

10月27日 9:21am

*パレスチナ・クロニクル：米国移民当局は、英国の政治評論家でジャーナリストのサミ・ハムディを身柄拘束し、彼のビザを取り消し、彼の米国講演ツアーを完了させないで国外追放すると発表した。

10月27日 9:02am

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、西岸地区アル・ハリール（ヘブロン）南西にある町ベイト・アワで衝突が発生し、イスラエル占領軍兵士が投げたスタン手榴弾で15歳のパレスチナ人子どもが頭部に負傷したと報じた。

*チャンネル7：停戦合意から約2週間後、人為的なミスでイスラエル軍内で異例の重大なセキュリティ事件が発生し、情報保護プロトコルが破られた。エヤル・ザミール参謀総長は徹底的調査を命令し、軍検閲当局は情報漏洩の程度が調査によって明らかになるまで、報道禁止とした。

*パレスチナ・メディア：地元報道によると、イスラエル軍無人機がガザ市東のアッシュジャイヤ交差点近くにある避難民キャンプ付近に爆弾を投下した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル占領軍がハーン・ユニス東を3回空爆し、建物を破壊したと報じた。

*パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル占領軍は西岸地区のアル・ビレ市に侵攻、民家に押し入った。

*パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル占領軍は西岸地区ナブルスの東にあるバラータ難民キャンプを襲撃した。

*アル・ジャジーラ：ガザの住民はイスラエルのジェノサイドで住む家を失い、一部の住民は倒壊の恐れがある建物で生活している。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル占領軍がガザ市東部で住宅破壊を行ったと報じた。

10月27日 12:04am

*パレスチナ・メディア：情報筋によれば、イスラエル占領軍は西岸地区のトゥルカレム市の北にある町カフィンの住宅を襲った。

*パレスチナ・メディア：ガザの裁判所とシャリーア（イスラム法）法廷には膨大な数の訴訟が持ち込まれ、その数と中身の複雑さは前例がないほど膨れ上がっている。その多くは、イスラエル軍の虐殺で発生した未亡人や未成年の後見問題、財産確認、相続に関するものである。

10月26日 10:11pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルの新聞ハアレツの調査によると、イスラエル軍は、国境から数百メートル離れたガザの場所に、大量の廃棄物、瓦礫、建築廃材を投棄している。

*カン：治安筋の話では、4人のイスラエル人質が埋まっている場所は依然として不明である。

*アル・ジャジーラ：医療筋がアル・ジャジーラに語ったことによると、西岸地区アル・ハリールの南にあるメイタール検問所でパレスチナ人1人がイスラエル軍に殺害された。

*PRCS（パレスチナ赤三日月社）：西岸地区ジェニン南のカバティヤで、イスラエル軍の発砲でパレスチナ人2人が負傷した。

10月26日 8:40pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人民への正義の実現を、影響力がある国の政府の意思に任せることはできない。正義は人民レベルで要求し、築き上げ、戦い取るものだ。

「パレスチナ人のための法」（L4P）の運営評議会理事の[アニーシャ・パテルの小論](#)を読みたい。

*カン：治安筋の話によると、米国政府は、人質遺体が全部返還されて埋葬されるのを待たずにガザ合意に第二段階に進むことを望んでいる。

10月26日 7:57pm

*パレスチナ・クロニクル：入植者が組織的な土地押収とパレスチナ人農地への攻撃を激化する中、イスラエル占領軍は西岸地区全域で大規模襲撃を展開し、パレスチナ人13人を身柄拘束した。

10月26日 7:45pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルはこの数日間レバノン南部と東部をドローン攻撃し、多数の民間人を殺害した。これは国連決議違反であり、地域紛争を拡大させる恐れを高めている。

*ロイター通信：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相は、週に4回もネタニヤフ首相を裁判所に出廷させることは、現在進行中の安全保障及び政治的課題に関する首相の職務遂行を妨害することで、国家への攻撃に等しいと言った。

10月26日 6:23pm

*パレスチナ・クロニクル：法律家、研究者、人権擁護活動家らで構成される市民社会運動である「ガザ人民法廷」は、イスラエルはガザでパレスチナ人にジェノサイドを行っているとは決定した。